

第一学年 武道「空手道」 学習指導案

(1) 本時の展開 (10時間中1時間目)

本時の目標

- ① 武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、理解できるようにする。
【知識及び技能】
- ② 武道はそれぞれの種目で、主として高まる体力要素が異なることについて、理解できるようにする。
【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 20分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動 5 オリエンテーション ・授業の約束について説明を聞く ・学習カードについて説明を聞く	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○準備運動に加え、手首、足首、首、股関節や肩のストレッチを行わせる。 ○空手道の運動に適した体ほぐしの運動を工夫する。(例)足の振り上げなど ○体力を高めることはもとより、筋肉、関節への刺激により、ケガを防止する観点からも補助運動をしっかり行わせる。 ○授業の約束事項について説明する。	
	6 歴史や特性、関連して高まる体力の理解 ・空手道の歴史と特性について説明を聞く ・空手道を学習する意義やねらいを理解する ・空手道で高まる体力を理解する	・道場内の私物(上靴、脱衣等)の整理・整頓を行う ・武道は「礼に始まり、礼に終わる」ことを忘れず、相手を尊重する気持ちを持つ ・「空手に先手なし」の精神で授業に臨む ・仲間と協力し、互いに教えあって学習する ・安全に留意して学習する ○学習カードを配布し、本時の学び、次時への課題について記入することを説明する。 ○空手道に対して不安をもつ生徒がいる可能性を考慮し、問いかけをしながら空手道の歴史や特性、学習する意義や魅力を伝える。 ☞配布資料 P1「『空手道』はいつ、どうやって生まれたか?」、「『空手道』の特性」 問いかけ「なぜ体育で空手道をやりたいのだろう?」 ☞配布資料 P3「なぜ体育で空手道を学ぶのか?」 ○空手道で高まる体力について説明する。 ☞配布資料 P3「なぜ体育で空手道を学ぶのか?」	武道は対人的な技能を基にした運動で、我が国固有の文化であることについて、言ったり書き出ししたりしている。【知識・技能】(学習カード) 武道はそれぞれの種目で、主として高まる体力要素が異なることについて、言ったり書き出ししたりしている。【知識・技能】(学習カード)

<p>展開 25分</p>	<p>1 映像を視聴する</p> <p>2 安全について説明を聞く</p> <p>3 礼法（立礼・座礼）について説明を聞き、実演する</p> <p>3 立ち方（5種類）を実演する</p> <p>4 立ち方ジャンケンを行う</p>	<p>○空手世界選手権出場選手の動画を見せる。 ☞配布資料 P3「世界に広まる空手道」</p> <p>○空手道の授業で学んだことは、授業以外では行わないことを理解させる。</p> <p>○礼の意義について理解させ、常に相手を尊重する態度をもって空手道の学習にのぞむようにさせる。☞配布資料 P4「空手道の礼法」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・座り方について☞配布資料 P4「1. 正座」 ・座礼について☞配布資料 P5「2. 座礼」 ・立礼について☞配布資料 P6「3. 立礼」 <p>○閉足立ち、結び立ち、平行立ち、八字立ち、前屈立ちの5つの立ち方を理解させる。 ☞配布資料 P7「1. 基本的な『立ち方』」</p> <p>○立ち方ジャンケンを行わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結び立ちは「グー」前屈立ちは「チョキ」 平行立ち（八字立ち）は「パー」 ・二人組を作り、向かい合わせで行う。ジャンケンの前後に「立礼」をする。 ・ジャンケンが終わったら、相手を変えて行っていく。 	
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合整列</p> <p>2 学習カードの記入</p> <p>3 健康観察</p> <p>4 次時の予告、挨拶</p>	<p>○服装を正し、整然と整列をさせる。</p>	

(2) 本時の展開 (10時間中2時間目)

本時の目標

① 基本動作「立ち方」ができるようにする。

【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 20分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動 5 復習 ・立礼を行う ・左座右起を守って座礼を行う ・5種類の立ち方で立つ	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、前時に指導した安全に関する注意事項を確認させる。 ○礼法、立ち方について、教師が名称を言い生徒に実演させる。	
展開 25分	1 正中線について説明を聞く 2 受けについて説明を聞き、実演する ・上段あげ受け ・平行立ちでの上段あげ受け ・前屈立ちでの上段あげ受け ・下段受け ・平行立ちでの下段受け ・前屈立ちでの下段受け 3 運足について説明を聞き、前屈立ちでの移動を行う ・腰に手を当て2挙動で移動 ・腰に手を当て1挙動でゆっくり移動 ・腰に手を当て1挙動で素早く移動	○正中線についての説明をする。 ○受けを行う上で、正中線に人体の急所があることを理解させる。 ☞配布資料 P8「正中線について」 ○受けとは何か、正中線との関係の説明 ○上段あげ受けの方法について説明をする。☞配布資料 P9「1.上段あげ受け」 ・左側の受けを10回行った後、右腕を前にし、右腕の受けを10回行う。その後、左右交互に10回行う。 ○運足について説明する。 ・重心を上下させないように意識する。	
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	

(3) 本時の展開 (10時間中3時間目)

本時の目標

① 基本動作「立ち方」ができるようにする。

【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 20分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・前時で学習した受けを行う ・前屈立ちでの移動を行う	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○前時で学習した受けや運足の名称を教師が言い、生徒に実演させる。 ・基本の構えから左前屈立ちで下段受けを行う。 ・基本の構えから右前屈立ちで下段受けを行う。	
展開 25分	1 突きについて説明を聞く ・中段突き ・下段受け 2 前屈立ちでの移動を行う ・基本形90度・180度・ 270度の動き確認 3 基本形一について説明を聞き、第1挙動～第5挙動までを行う	○突きとは何か、基本的な技のポイントを説明する。☞配布資料 P11「突き」 ○前屈立ちからの順突きでの移動の仕方を説明する。☞配布資料 P12「前屈立ちでの移動」 ○下段受けのポイントを意識して取り組ませる。 ○形練習の意義について説明する。 ・形練習が行われてきた背景、全身運動として有意義な運動であることなどを説明し、形練習の意義を確認する。 ☞配布資料 P13「形の練習」 ・形は「礼に始まり、礼に終わる」ことを説明し、練習の際も最初と最後に「礼」をすることを確認する。 ○第1挙動～第5挙動までを行わせる。 ☞配布資料 P13「1. 基本形一 第1挙動～第5挙動」	基本動作「立ち方」ができる。 【知識・技能】(観察)
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	

(4) 本時の展開 (10時間中4時間目)

本時の目標

- ① 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、理解できるようにする。 【知識及び技能】
- ② 「下段受け」ができるようにする。 【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 20分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・下段受けを行う ・前屈立ちでの移動(運足)を行う	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○前時で指導したポイントを確認しながら基本の構えから左前屈立ち左下段受け、右前屈立ち右下段受けを実演させる。 ○前時で指導したポイントを確認しながら運足と順突きでの移動を実演させる。	下段受けができる。 【知識・技能】(観察)
展開 25分	1 上段あげ受け ・受け突きを連動させ、上段あげ受け⇒中段突きを行う 2 基本形一 ・第6挙動～第16挙動までを行う	○受けと突きのポイントを押さえ連動した技を行わせる。 ○第6挙動～第16挙動までを行わせる。 ☞配布資料 P14「2. 基本形一 第6挙動～第16挙動」	
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【知識・技能】(学習カード)

(5) 本時の展開 (10時間中5時間目)

本時の目標

- ① 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、理解できるようにする。 【知識及び技能】
- ② 禁じ技を用いないなど健康・安全に留意できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

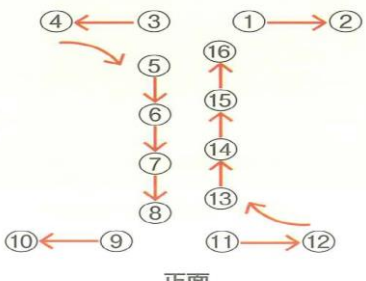
時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・約束組手について説明を聞く ・受け、突きの練習を行う ・協調性(ルールを守り、正しい方法で実施)について説明を聞く	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○約束組手とは何か、意義について説明する。 ・護身の第一歩とし、攻撃側と受け側を決めて、攻防の練習をする。 ○突き、受けのときの相手との距離(間合い)を、正確につかむことが大切であることを意識させる。 ○粗暴な行為を防ぎ、お互いの安全面に最大の注意を払わせる。	
展開 30分	1 受けと突きの個々の動作を確認し、実演する ・受け、突きを連動させ、上段あげ受け⇒中段突きを行う ・下段受け⇒中段突きを行う 2 基本形一 ・第17挙動～第20挙動までを行う	○受けと突きのポイントを押さえ連動した技を行わせる。 ○第17挙動～第20挙動までを行わせる。 配布資料 P15「2. 基本形一 第17挙動～第20挙動」	禁じ技を用いないなど健康・安全に留意している。 【主体的に学習に取り組む態度】(観察)
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【知識・技能】(学習カード)

(6) 本時の展開 (10時間中6時間目)

本時の目標

- ① 「中段突き」ができるようにする。 【知識及び技能】
- ② 提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選ぶことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・約束組手を行い、受けと突きの練習をする ・協調性(ルールを守り、正しい方法で実施)を守って練習に取り組む	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○二人一組で約束組手を行わせる。 ○突き、受けのときの相手との距離(間合い)を、正確につかむことが大切であることを意識させる。 ○お互いの安全面に最大の注意を払わせる。	中段突きができる。 【知識・技能】(観察)
展開 30分	1 受け突きの連動(連続技) (下段受け⇒中段突き) 2 基本形一 ・第1挙動から第20挙動までを行う	○受けと突きのポイントを押さえ連動した技を行わせる。 配布資料 P17「受けと突きの連動」 ○基本技を意識して正確に行うよう声かけをする。 ⑧・⑬の部分で気合を出す。 ※⑭～⑳は①～④と同じ  <p style="text-align: center;">正面</p> ○練習方法が記載された掲示を確認し、自分に合った練習方法を選ばせる。 配布資料 P17「2. 練習方法を選ぶ」	提供された練習方法から、自己の課題に応じた練習方法を選んでいる。 【思考・判断・表現】(学習カード)
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	

(7) 本時の展開 (10時間中7時間目)

本時の目標

- ① 「上段あげ受け」ができるようにする。 【知識及び技能】
- ② 掲示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動 5 復習 ・約束組手を行い、受け、突きの練習をする ・協調性(ルールを守り、正しい方法で実施)を守って練習に取り組む	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○二人一組で約束組手を行わせる。 ○突き、受けのときの相手との距離(間合い)を、正確につかむことが大切であることを意識させる。 ○お互いの安全面に最大の注意を払わせる。 ○約束組手のポイントの確認をさせる。 ・目付(集中力)、気合(発声)、技の力強さ、スピード(身体)、残心(心)	
展開	1 前屈立ち移動を行う ・基本形90度・180度・270度の動き確認 2 基本形一をグループで学習させる	○前屈立ち移動のポイントを確認させる。 ☞配布資料P12「前屈立ちでの移動」 ○グループでの学習が始まることから、グループでの役割分担とその内容について示す。 ☞配布資料P17「グループ練習」 ○グループ(3人もしくは4人)ごとに基本形を練習させる。 ○グループの形態を選択させる。 ○仲間の良い点や修正点を伝え合い、話し合わせる。 ○お互いの良い点に気付かせる。 ・技の力強さや技のスピード ○次時から、グループで動きを合わせた(シンクロさせた)団体形の練習を行うことを伝える。	「上段あげ受け」ができる。 【知識・技能】(観察) 掲示された動きのポイントやつまづきの事例を参考に、仲間の課題や出来映えを伝えている。 【思考・判断・表現】(学習カード)

整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。	
----------	--	-------------------	--

(8) 本時の展開 (10時間中8時間目)

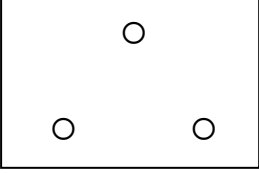
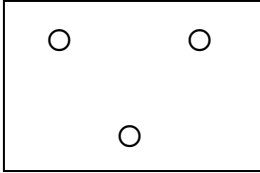
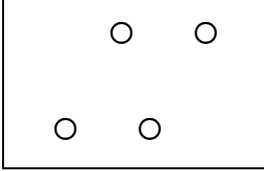
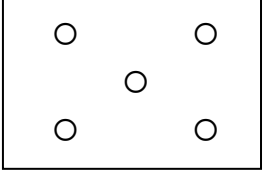
本時の目標

① 用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たすことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・約束組手を行い、受け、突 きの練習をする ・協調性(ルールを守り、正 しい方法で実施)を守って 練習に取り組む	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を 確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突 き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの 同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○二人一組で約束組手を行わせる。 ○突き、受けのときの相手との距離(間合い) を正確につかむことの大切さを意識させ る。 ○お互いの安全面に最大の注意を払うように 声かけをする。	

(次頁に続く)

<p>展開</p>	<p>1 受け、突き・前屈立ち移動 2 グループで形の練習を行う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 3 人の場合 ・ 4 人の場合 ・ 5 人の場合 	<p>○団体形の基本的な並び方を紹介し、選択させる。</p> <p>3人Aパターン 3人Bパターン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> </div> <p>○発表でのグループ内の役割分担とその内容について確認させる。</p> <p>4人パターン 5人パターン</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">  </div> </div> <p>○団体形の並び方が決まったら、どんな練習方法がいいかを話し合わせる。</p> <p>○言語活動の充実が図られるように巡回指導をする。生徒が自ら答えを出すためのヒントとなる声かけを心がける。</p> <p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(グループや個人に対し) つまづいているところはどこだろう？ ・(形の中で) つまづいている挙動は何だろう？ ・(つまづいている) 挙動のポイントは何だっただろう？ <p>○話し合いを通して、忘れた挙動、わからない挙動を確認するよう指示をする。</p> <p>○わからない挙動を確認できるよう、映像資料をすぐ見られるように大型モニターを用意するなど場の工夫をし、自分たちが練習しやすい環境を作るように呼びかける。</p> <p>☞配布資料 P13「映像でチェック！基本形1」</p> <p>○教師による確認、タブレット端末などで撮影し、確認できる場をつくる。</p>	<p>用具等の準備や後片付け、審判などの分担した役割を果たそうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(観察)</p>
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶</p>	<p>○服装を正し、整然と整列をさせる。</p>	

(9) 本時の展開 (10時間中9時間目)

本時の目標

① 武道の学習に積極的に取り組むことができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、 補助運動 5 復習 ・約束組手を行い、突き、受けの練習をする ・協調性(ルールを守り、正しい方法で実施)を守って練習に取り組む	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○二人一組で約束組手を行わせる。 ○突き、受けのときの相手との距離(間合い)を、正確につかむことが大切であることを意識させる。 ○お互いの安全面に最大の注意を払うように声かけをする。	
展開 35分	1 基本形一の発表方法について説明を聞き、グループにて練習を行う	○形は「礼に始まり、礼に終わる」ことを説明し、練習の際も最初と最後に「礼」を確認させる。 ○発表時には入場、退場も行うことを説明し、行わせる。 ☞配布資料 P26「試合」 ○わからない挙動を確認できるよう、映像資料をすぐ見られるように大型モニターを用意するなど、場の工夫をし、自分たちが練習しやすい環境を作るように呼びかける。 ○教師による確認のほか、タブレット端末などで撮影し、確認できる場の設定をする。 ○グループ同士で見せ合い、助言し合うように声かけをする。	
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 次時の予告、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。 ○本時の自己評価について学習カードに記入させる。	武道の学習に積極的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】(単元を通じた観察及びこれまでの学習カードの記載状況)

(10) 本時の展開（10時間中10時間目）

本時の目標

① 基本形一のグループでの発表ができるようにする。

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
導入 15分	1 集合、整列、挨拶 2 出欠確認、健康観察 3 本時の学習内容の確認 4 準備運動 ・準備運動（体ほぐしの運動）、 補助運動 5 復習 ・グループで基本形一の動き を確認する	○整然と整列し、挨拶をさせる。 ○学習のねらいや、安全に関する注意事項を確認させる。 ○状況に応じて、前時までに学習したその場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○グループごとに基本形を練習させる。 ○形は「礼に始まり、礼に終わる」ことを説明し、練習の際も最初と最後に「礼」をすることを確認させる。	
展開	1 基本形一を発表する ・グループごとに発表	○グループごとの発表を見て、よい点や修正点を記録する。 ○ビデオカメラやタブレット端末などで演武を撮影する。	
整理 5分	1 集合整列 2 学習カードの記入 3 健康観察 4 単元の振り返り、挨拶	○服装を正し、整然と整列をさせる。 ○本時の自己評価について学習カードに記入させる。	授業全体を通して、単元の評価の確認を行う。

第二学年 武道「空手道」 学習指導案

(1) 本時の展開 (10時間中1時間目)

本時の目標

- ① 武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方があることについて理解できるようにする。 【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認	○整列し、座礼をさせる。 ・1学年で学習した礼法(左座右起など)の復習を行う。	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> 本時のめあて 空手道の歴史や特性を理解し、礼法や基本的な立ち方・突き・受けについて学ぶ。 </div>			
	オリエンテーション 1 授業ルールの確認 ・授業への積極的な取組についても確認 2 空手道の歴史と特性について説明を聞く (第1学年の復習) 3 健康、安全について説明を聞く 4 評価について説明を聞く 5 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動	○授業内でのルールや健康・安全について理解させる。 ・武道場の入口では立礼、授業の最初と最後は座礼 など ○空手道の歴史や特性についてICTなどを活用して復習させる。 ☞配布資料 P1『『空手道』はいつ、どうやって生まれたか?』『『空手道』の特性』 ○空手道は、老若男女問わず誰でも生涯を通して行うことができる生涯スポーツであることを理解させる。 ○約束事項を守らせることでのけがの防止に努めさせる。☞配布資料 P6「4. 練習場(道場)におけるその他の礼儀作法」 ○「正確性」「統一性」「気合」「目付け」「残心」の5観点を理解させる。 ☞配布資料 P2『『正確性』『統一性』『気合』『目付け』『残心』』 ○けがの予防をする観点からもしっかりと行わせる。 ○空手道は、全身運動であることから全身をほぐしたり、伸ばしたりすることを意識させる。	武道には技能の習得を通して、人間形成を図るという伝統的な考え方があることについて、言ったり書き出したりしている。 【知識・技能】(学習カード)

<p>展開 30分</p>	<p>1 礼法（立礼・座礼）を実演する 「左座右起」の復習</p> <p>2 立ち方を実演する</p> <p>3 拳の握り方を実演する</p> <p>4 受け（下段受け）の方法を学ぶ</p> <p>5 突き（八字立ち）の方法を学ぶ</p> <p>6 基本形一の挙動を見る</p>	<p>○2人組で互いに礼法、基本的な動作を確認させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立礼 ・座礼 <p>○常に相手を尊重する態度で学習に臨むようにさせる。</p> <p>○閉足立ち、結び立ち、平行立ち、八字立ち、前屈立ちの5つの立ち方を理解させる。☞配布資料 P7「1.基本的な立ち方」</p> <p>○小指、薬指、中指、人差指の順で拳を作り、親指を人差指と中指に添えるように握らせる。</p> <p>○両腕を胸の前で交差させて構えさせる（基本の構え）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左下段受けを行う時には、左腕を前にして交差させ、自分の左足の前に腕を振り下ろす。 ・右下段受けを行う時には、左下段受けと左右逆の動作をする。 <p>○突き手と引き手の軌道を理解し、突き手と引き手の動作が同時に終わるようにさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八字立ちで受けと突き、前屈立ちで移動しながら同様の動作を行う。 <p>○映像を確認させる。 ☞配布資料 P13「映像でチェック!『基本形1』」</p> <p>○1挙動ずつを振り返り、確認させる。</p>	
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合・整列・健康観察</p> <p>2 学習カード配布</p> <p>3 次時の説明</p> <p>4 礼</p>	<p>○服装を正し、整然と並ばせる。</p>	

(2) 本時の展開 (10時間中2時間目)

本時の目標

- ① 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて理解できるようにする。 【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認	○整列し、座礼をさせる。	
	<p>本時のめあて 「基本形二」での中段前蹴り・中段順突きをできるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、安全について説明を聞く <li style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">身を守る護身術である。空手に先手なし。 ・伝統的な所作についても確認する ・形について説明を聞く <li style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">形の形式美や動作の意味について指導する。 		
	4 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動	<ul style="list-style-type: none"> ○「形」はけがが少ない運動であるが、前時で学習した相手を尊重する心を確認しながら、安全に配慮させる。 ・四方にいる敵を想定した攻防 (一つひとつの動きには意味がある) ・一挙動ずつ決められた順番で形を繰り返し練習することで空手の基本的な技や姿勢を身につけるだけでなく、実践応用に必要な空手独特の身体動作を身につける。 ○けがの防止に努めさせる。 	

<p>展開 30分</p>	<p>1 中段前蹴り（閉足立ち）を実演する ○左右5回ずつ練習する。</p> <p>2 中段順突き（前屈立ち）を実演する ○左右5回ずつ練習する。</p> <p>3 中段前蹴り＋中段順突きを実演する</p> <p>4 基本形二の練習をする ○第一挙動から通しながら第二、四、十、十二、十八、二十挙動の確認を重点的に行う。</p>	<p>○つま先立ちの状態をつくり、上足底の位置を覚えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉足立ちから蹴り足の足首を曲げて、脚を引き上げる。 ・指先を反らして、上足底で蹴った後、すぐに元の膝を上げている位置に戻す。 <p>☞配布資料 P19「中段前蹴り」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左前屈立ちから右足を左足に引き寄せる。その後、右足を前に移動して右前屈立ちになった直後に右手で突く。 ・突く動作と同時に引き手をしっかりと引く。 <p>☞配布資料 P19「中段順突き」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左前屈立ちから右足で中段前蹴りを行う。その後、右中段順突きを行う。 ・蹴った後、膝上げの状態に引き戻してから足を着地させる。 <p>○基本形二の練習を行わせる。</p> <p>☞配布資料 P20「基本形二 第1挙動～第20挙動」</p>	<p>武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>【知識・技能】(学習カード)</p>
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合・整列・健康観察 2 学習カード配布 3 次時の説明 4 礼</p>	<p>○服装を正し、整然と並ばせる。</p>	

(3) 本時の展開 (10時間中3時間目)

本時の目標

- ① 武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて理解できるようにする。 【知識及び技能】

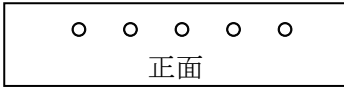
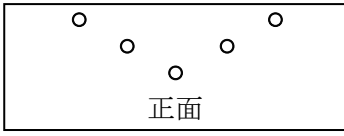

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認	○整列し、座礼をさせる。	
	<p>本時のめあて 技のポイントを理解し、グループで協力して「基本形二」ができるようにする。</p>		
	4 技の名称の確認をする 5 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動	<p>○写真または見本を提示する。 配布資料 P20「基本形二 第1挙動～第20挙動」</p> <p>○基本技の名称を理解させる。 ○技の名称を理解させると共に技能ポイントについても振り返らせる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。</p>	
展開 30分	<p>1 基本形二の確認(10分)をする ○全体で一度確認する。</p> <p>2 グループ学習(20分)を行う ○背の順で4、5名の少人数グループを作る。(リーダーを1名配置する) ・リーダーは、教師があらかじめ生徒の技能を見て決定する。</p>	<p>○1挙動ずつの技の名称と技能ポイントを振り返らせる。</p> <p>○グループで学習させる。 ○練習を工夫したり教え合ったりできる場を設定する。 ○練習方法を生徒に考えさせて、主体性をもたせる。 ○練習方法を提示する。 ①リーダーが見る人、他の生徒は形を行う人という形式で分けて練習する。 ②グループを半分に分けて見る人、形を行う人に分けて練習する。 ③全員で形を行い、統一性を高める。</p>	<p>武道の技には名称があり、それぞれの技を身に付けるための技術的なポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。 【知識・技能】(学習カード)</p>
整理 5分	1 集合・整列・健康観察 2 学習カード配布 3 次時の説明 4 礼	○服装を正し、整然と並ばせる。	

(4) 本時の展開 (10時間中4時間目)

本時の目標

- ① 「基本形二」ができるようにする。 【知識及び技能】
- ② 練習の場面で、仲間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本時のめあて グループで協力して「基本形二」ができるようにする。 </div> 4 集団演武について説明を聞く ○評価の観点 <div style="border: 1px dashed black; padding: 2px; display: inline-block;"> 正確性 目付け 気合 統一性(シンクロ) 残心 </div> ・団体形の映像を見せる。	○整列し、座礼をさせる。 ○グループの仲間と呼吸や動きを合わせることで統一性が高まることを理解させる。 ○演武の正確さ、力強さ、素早さなどが整うことで迫力のある演武になることを理解させる。 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。	
	5 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動		

<p>展開 30分</p>	<p>1 基本形二のグループ学習 (5分) をする ○全体で一度確認する。</p> <p>2 発表方法 (隊形) をグループで確認する (15分) (例) 横並び、三角形、長方形</p> <p>・体力や技能の程度、性別の違いを生かすよう指導する。</p> <p>3 グループごとに演武発表する (10分) ・1グループが終わる度に見ている生徒に感想を聞く。</p>	<p>○1 挙動ずつの技の名称と技能ポイントを振り返らせる。</p> <p>○いくつかの演武隊形を提示し、リーダーを中心にグループで隊形を考えさせる。</p> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px;">  <p>正面</p> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px;">  <p>正面</p> </div> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; width: fit-content; margin: 10px auto; padding: 5px;">  <p>正面</p> </div> <p>○「礼に始まり礼に終わる」ことを徹底させる。</p> <p>○グループ練習では、技能の向上に加え、互いの良い所を伝えさせる。 (良い例:相手と向かい合った際、率先的にきちんと礼をしている など)</p> <p>○互いに成果をたたえ合い、演武の最後は拍手をさせる。</p> <p>○正確性、目付け、気合、統一性 (シンクロ)、残心の観点で生徒にも評価させる。</p>	<p>基本形二ができる。 【知識・技能】(観察)</p>
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合・整列・健康観察 2 学習カード配布 3 次時の説明 4 礼</p>	<p>○服装を正し、整然と並ばせる。</p> <p>○仲間の良い所作や取組などについて発表させる。</p>	<p>練習の場面で、仲間の伝統的な所作等のよい取組を見付け、理由を添えて他者に伝えている。 【思考・判断・表現】(学習カード)</p>

(5) 本時の展開 (10時間中5時間目)

本時の目標

① 相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認	○整列し、座礼をさせる。	
	<div data-bbox="140 465 863 546" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 本時のめあて 基礎の技を活用し、約束組手ができるようにする。 </div> 4 創作組手の作り方について説明を聞く 5 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動	○グループの仲間と呼吸や動きを合わせることで統一性が高まることを理解させる。 ○演武の正確さ、力強さ、素早さなどが整うことで迫力のある演武になることを理解させる。 ○相手を想定して組手を考えさせる。 ☞配布資料 P26「創作組手の構成」 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。	

<p>展開 30分</p>	<p>1 約束組手を練習する (20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手の動き (攻め) に応じて技を受け、対人的技能を高める。 攻撃側と受け側に別れ、決められた攻撃と受けを行う。 授業内では、決して相手にけがをさせないこと。打突しないこと。 <p>○右中段順突き⇒左中段外受け、右中段逆突き</p> <ul style="list-style-type: none"> 攻撃側と受け側を入れかえながら行う。 <p>2 基本技の確認・練習をする (10分)</p> <p>○中段外受け</p> <ul style="list-style-type: none"> 左前屈立ちの時⇒左腕で中段外受け 右前屈立ちの時⇒右腕で中段外受け <p>○中段逆突き</p> <ul style="list-style-type: none"> 左前屈立ちの時⇒右拳で中段突き 右前屈立ちの時⇒左拳で中段突き <p>○中段外受け+中段逆突き</p> <ul style="list-style-type: none"> 八字立ちから左前屈立ち、左腕で中段外受け⇒右拳で中段逆突き 八字立ちから右前屈立ち、右腕で中段外受け⇒左拳で中段逆突き 	<ul style="list-style-type: none"> ○相手との距離に注意させる。 ○踏み出した時、突いた時に相手に当たらない距離を作らせる。 ○「礼に始まり、礼に終わる」ことを再確認し、組手の最初と最後に礼を入れるように声かけをする。 ・攻撃側の方は、必ず「中段行きます！」というように受け側に知らせる。受け側は、「ハイッ」と返事する。 ○まずは、互いにゆっくりと動作確認を行わせる。 ・お互いに突く動作の時には、「エイッ」と気合いをいれる。 ・相手に敬意をもって望ませる。 ・中段外受けの練習をする。 ☞配布資料 P23「中段外受け」 ・中段逆突きの練習をする。 ☞配布資料 P23「中段逆突き」 ・中段外受け+中段逆突きの練習をする。 ☞配布資料 P23「中段逆突き」 	<p>相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】(観察)</p>
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合・整列・健康観察</p> <p>2 学習カード配布</p> <p>3 次時の説明</p> <p>4 礼</p>	<p>○服装を正し、整然と並ばせる。</p>	

(6) 本時の展開 (10時間中6時間目)

本時の目標

① 「約束組手」ができるようにする。

【知識及び技能】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	<p>1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認</p> <p>本時のめあて 基礎の技を活用し、グループで創作組手を構成する。</p> <p>4 技の名称を確認する ○これまでに学んだ技の実演</p> <p>5 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動</p> <p>○約束組手を行う 攻撃側－右中段順突き 受け側－左中段外受け、右中段逆突き</p> <p>○二人組で攻め方、受け方を考え、簡易な約束組手を行う。</p>	<p>○整列し、座礼をさせる。</p> <p>○基本技の名称を理解させる。 ○中段順突き、中段前蹴りを行わせる。 ○中段外受けを行わせる。 ○中段逆突きを行わせる。 ○技の名称を理解させると共に技能ポイントについても振り返らせる。</p> <p>○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○衝突の防止に配慮させる。 ○相手を想定して形を考えさせる。 ○形式的な約束組手を生徒に考えさせる。</p> <p>配布資料 P26「創作組手の構成」</p>	<p>約束組手ができる。 【知識・技能】(観察)</p>

<p>展開 30分</p>	<p>1 基礎の技の復習 (5分) ○中段外受け ○中段逆突き ○中段外受け+中段逆突き</p> <p>2 創作組手を考える (25分) ○グループで学習した基礎の技を組み合わせて形を構成する。 ・形の構成を学習カードに記入する。</p>	<p>○受ける位置の確認や引き手を腰の位置まで引くことなど、細部まで確認させる。</p> <p>○1 挙動ずつ攻撃や受けなどの意味を考えさせる。 ○相手を想定した構成にするよう促す。 ○既習の技を元に構成させる。 ○移動は、一方向だけでなく自分の周りの相手を想定し移動する方向についても考えさせる。相手を想定した構成であれば、移動は全方向、可能とする。 ○「気を付け・礼」を最初と最後に入れ、「礼に始まり礼に終わる」ことを徹底させる。</p>	
<p>整理 5分</p>	<p>1 集合・整列・健康観察 2 次時の説明 3 礼</p>	<p>○服装を正し、整然と並ばせる。</p>	

(7) 本時の展開 (10時間中7時間目)

本時の目標

① 学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

① 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認 本時のめあて 基礎の技を活用し、グループで協力して創作組手を完成させる。 4 創作組手の練習方法の提示 ① 構成した形をグループで確認する。 ② 隊形を決定する。 ③ グループ内で形を見せ合う。 5 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動 ○約束組手 ・二人組で攻め方、受け方を考え、簡易的な約束組手を行う。 例： ① 攻撃側－右上段順突き 受け側－左上段上げ受け、右中段逆突き ② 攻撃側－右中段順突き 受け側－右中段受け、左中段逆突き	○整列し、座礼をさせる。 ○グループのリーダーを中心に話し合い活動、教え合い活動が活発になるように促す。 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○衝突の防止に配慮させる。 ○相手を想定して形を考えさせる。 ○形式的な約束組手を生徒に考えさせる。	
展開 30分	○創作組手グループ学習 ・形の構成を学習カードに記入する。 ・体力や技能の程度、性別の違いを生かしているか確認する。 ・リーダーを中心に形を構成し、練習を進める。 ・グループの発表形態 (隊形) の確認を行う。 ・必要に応じて ICT を活用する。	○グループでの話し合い内容や進度を学習カードに記入させる。 ・安全面での留意点について記載し、仲間と共有する。 ○「礼に始まり、礼に終わる」ことを再確認し、形の最初と最後に礼を入れるよう声かけをする。 ○次回のグループ発表に向けて各グループの進度を見て助言する。 ○タブレットを活用し、グループ内で撮影して技能の向上や形の構成に役立たせる。	学習した安全上の留意点を、他の学習場面に当てはめ、仲間に伝えている。【思考・判断・表現】(学習カード) 一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 (観察)
整理 5分	1 集合・整列・健康観察 2 次時の説明 3 礼	○服装を正し、整然と並ばせる。 ○本時を振り返り、自己評価を行う。	

(8) 本時の展開 (10時間中8時間目)

本時の目標

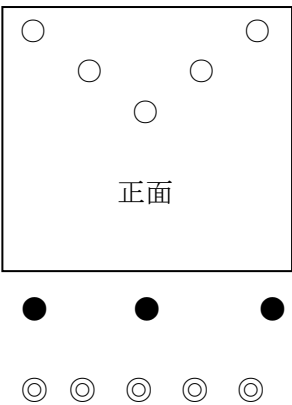
- ① 体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えることができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 本時のめあて グループで構成した創作組手を発表す </div> 4 集団演武について ① 全員で息の合った動作、正確性 全員で動作を合わせることで迫力が増す。 ② 一挙動ごとの力強さ、素早さ 力強い突きや素早い受けによって、さらに見栄えが良くなる。 ③ 迫力のある気合い 気合いを発することで動きの力強さが増す。 5 準備運動 ・準備運動 (体ほぐしの運動)、補助運動 ○約束組手 ・二人組で攻め方、受け方を考え、簡易的な約束組手を行う。 (例) ① 攻撃側－右上段順突き 受け側－左上段上げ受け、右中段逆突き ② 攻撃側－右中段順突き 受け側－右中段受け、左中段逆突き	○整列し、座礼をさせる。 ○集団 (団体) での形は、正式種目としても取り入れられていることを理解させる。 ・クラス全員や学年全員で行うと更に迫力のある演武になる。 ○気合いについては、正式種目においても採点基準になることを理解させる。 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。 ○衝突の防止に配慮させる。 ○相手を想定して形を考えさせる。 ○形式的な約束組手を生徒に考えさせる。その際、全員が参加して楽しむ方法について考え、仲間と共有させる。	体力や技能の程度、性別等の違いを踏まえて、仲間とともに楽しむための練習や簡易な試合を行う方法を見付け、仲間に伝えている。 【思考・判断・表現】 (学習カード)
展開 30分	○創作組手グループ学習 (10分) ・形の構成を学習カードで確認する。 ○発表 (少人数演武 20分) ・グループごとに発表する。 ・他グループの演武を見て良い所を発表する。	○グループで創作組手の最終確認を行わせる。 ○発表を見て評価の5観点を元に他グループの良かった所を数名に発表させる。 ○見学態度については、場の雰囲気作りや静寂さを作らせる。	
整理 5分	1 集合・整列・健康観察 2 次時の説明 3 礼	○服装を正し、整然と並ばせる。	

(9) 本時の展開 (10時間中9時間目)

本時の目標

- ① 試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、理解できるようにする。 【知識及び技能】
- ② 武道の学習に積極的に取り組むことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認 本時のめあて 試合の行い方についてのルールや審判の方法、運営の仕方について理解する。 4 試合形式・方法について説明を聞く ① 3チームのグループを作り、対戦形式で2チームずつ対戦する。余った1チームが審判を行う。 ② 審判は、紅白の旗を持ち、5観点を元に勝敗を決定後、勝者側の旗を挙げる。 ③ 試合後は、審判のグループが両チームの良かったポイントを述べる。 ④ 試合での形は、既習の形(基本形一・二、創作組手)であれば良いこととする。 5 評価の仕方について ・5観点について理解する。 6 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動	○整列し、座礼をさせる。 ○形の試合について説明する。 ○「正確性」「統一性」「気合」「目付け」「残心」の5観点で他グループの試合を評価させる。 ○試合を楽しむだけでなく、他グループの良さを見つけさせる。 ・試合の始め方、終わり方、判定方法について ⇨配布資料 P26「試合」 ○「正確性」「統一性」「気合」「目付け」「残心」の5観点について再度確認させる。 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。	試合の行い方には、ごく簡易な試合におけるルール、審判及び運営の仕方があることについて、学習した具体例を挙げている。 【知識・技能】(学習カード)
展開 30分	1 形練習・グループ学習(10分)を行う 2 試合(20分) ・グループごとに試合を行う。 ・他グループの演武を見て良い所を発表する。 ・3チームの試合が終わったら対戦相手を変えて試合を行う。 ○…演武グループ ●…審判グループ ◎…対戦相手グループ 	○グループで創作組手の最終確認を行わせる。 ①「気を付け、礼」をしてから演武を始める。 ②審判グループは、5観点を元に勝敗を決定する。 ③審判グループの代表者の「判定！」の合図で一斉に紅・白旗のどちらかを挙げる。 ○発表を見て評価の5観点を元に他グループの良かった所を数名に発表させる。	

整理 5分	1 集合・整列・健康観察 2 学習カード配布 3 次時の説明 4 礼	○服装を正し、整然と並ばせる。	武道の学習に積極的に 取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り 組む態度】(単元を通し た観察及びこれまでの 学習カードの記載状況)
----------	---	-----------------	---

(10) 本時の展開 (10時間中10時間目)

本時の目標

① 集団演武についての理解を深め、全員で息の合った演武を行うことができるようにする。

時間	学習内容と学習活動	指導上の留意点	評価規準 【観点】(評価方法)
導入 15分	1 集合、整列 2 出欠確認、健康観察 3 学習内容の確認 本時のめあて 全員で息の合った集団演武ができるようにする。 4 集団演武について説明を聞く ・本授業では、1クラスごとの演武と2クラス合同での演武の2つを行う。 ・全員で動きを合わせるため、1挙動ごとの合図は、教員が掛ける。 ・1挙動ずつの動作を素早く、力強く出すようにする。 5 準備運動 ・準備運動(体ほぐしの運動)、補助運動	○整列し、座礼をさせる。 ○集団演武について説明する。 ○気合の声を合わせることや1挙動ずつの動作を素早く、力強く行うように指導する。 ○けがの予防、安全に配慮させる。 ○状況に応じて、その場での突き、上段・中段・下段の受け、また移動しながらの同様の動作などを併せて行わせてもよい。	
展開 30分	1 形の確認(基本形2 5分)をする ・復習として形の確認を行う。 2 形練習・グループ学習を行う(15分) ・基本形2 3 集団演武を行う(発表10分)	○1挙動ごとの受け方、突き方、蹴り方を確認させる。 ○グループで形の動きを高め合わせる。 ○クラス全員で集団演武を行わせる。 ○タブレット等で撮影する。 ○10時間の成果を振り返らせる。 ○集団演武後に自分たちの集団演武を見て成果を称え合わせる。	
整理 5分	1 集合・整列・健康観察 2 学習カード配布 3 単元の振り返り 4 礼	○服装を正し、整然と並ばせる。 ○本時を振り返り、自己評価を行う。	授業全体を通して、単元の評価の確認を行う。